

「つまらない」

中部中・2 田島 悠菜

「ああ、つまらない。」

学校の帰り道でもれてしまった私の声。いつもどおり歩いていけば見えてくる、虫の死がい、誰かの足跡。いつも通り歩いていけば聞こえてくる、信号の音、サイレンの音。いつもと何も変わらないつまらない帰り道。このときの私は何も理解していなかった。

また今日も繰り返す。つまらない、いつもの帰り道。私の横を走って通り過ぎていく小学生たちの楽しそうな声。

「私も前はあんな風楽しんで帰っていたのにな。」

また一つ心の声もれてしまった。私も前は友達と帰っていた。

「今日、学校どうだった？」

と私が聞くと、友達は、

「めちやくちや眠たかった。」

と答える。そんなたわいもない会話が私は好きだった。でもある日の帰り道、友達は、

「明日から一人で帰るね。」

と告げてきた。私は驚きですぐに返事をするのができず立ち止まってしまった。友達が不安そうな顔でこちらを見てきた。私はこれから友達と一緒に帰りたいという気持ちを押し殺して、

「うん、わかった。」

と自分の気持ちがあふれ出ないように短い言葉で返事をした。そうして私は一人で帰るようになった。その日からだったと思う。帰り道がつまらないと感じ始めたのは。

初めは部活のことを考えたり、これからの勉強について考えたりと一人で帰るのも悪くないと思っていた。でもだんだんと一人の寂

しさに気づき始めていた。そんなある日、突然幼なじみからラインがきた。

「明日から一緒に帰らない？」

私はあのつまらない帰り道から抜け出せると思い、喜んで承諾した。私は早く明日になってほしくてそわそわしていた。

待ち望んでいた次の日の帰り道。私はどんな話をしようか迷っていたが、幼なじみは、

「今日は雲が面白い形をしているね。」

と楽しそうに言った。私にはいつもと代わり映えない風景にしか見えないのに、幼なじみの子はまるで遊園地にでも来たかのような笑顔であの雲を見つめていた。私には理解ができなかった。私が困った顔をしていると幼なじみが言った。

「いろんな物に目を向けて考えたり感じたりして何かに気づけるって、ものすごく幸せなことだよ。」

私は気づかされた。いつもの帰り道に目を向けずに自分でつまらないものにしてしまっていたことに。考えてみれば、私が帰り道に空をじっくりと見上げたことがあつただろうか。いつもと同じ帰り道の中でいつもとは違うところを探そうとしたことがあつただろうか。今までつまらないと言っていた自分が急にぱからしくなってしまった。私は空を見上げた。見上げた瞬間、太陽の光でいろんな形の雲が照らされて輝いていた。なぜ今までこの小さな幸せに気づかなかつたのだろう。こんなに近くにあつたのに。その日から幼なじみと色々な物を見て、聞いて、感じて帰るようになった。毎日が楽しくて幸せで時間がたつのはあつというまだった。でも自分で何かを見つけたことはなかった。悩んでいた私に幼なじみは、

「そんなに焦らなくても大丈夫だよ。ゆっくりでいいんだよ。」

と言ってくれたが、私は早く何かを見つけてみたかった。けれど、私は見つけられなかった。

二年生の最初の頃、幼なじみの子と部活の終わりの時間が合わず

久しぶりに一人で帰ることになった。私は少し怖かった。また前にみたいなのつまらない帰り道になってしまうのではないかと。部活が終わり帰る準備をしていつもの帰り道へ向かう。私は必死に探した。空を見て、山を見て、田んぼを見た。でもどれも輝いては見えなかった。私は、

「やっぱり。」

と前のように心の声をもらしてしまった。一人じゃ何もできない、変われない。そんな自分が嫌になってしまった。その日、私はいつもと変わらない木、いつもと変わらない工場の音を聞いて歩いた。つまらないという言葉がもれてしまわないように耐えていた。その時だった。私の視界に赤ちゃんの様に小さく、ドレスの様に色鮮やかなかわいらしい花が目にとまった。私は思わず、

「見つけた。」

と言ってしまった。いろんな人に見られて恥ずかしいはずなのに、全然恥ずかしく感じなかった。それよりも見つけられたことがうれしい気持ちの方が強かったのだと思う。さっきまで霧がかかったような心だったのに、一気に晴れたように感じた。そんなことだと思う人も多くいると思う。けれど、いつもの裏に隠れている違いを見つけたことはとても難しいことだと思う。だから私は見つけられたことがうれしかった。それからの私は毎日たくさんのことを見つけてられるようになった。いつもとは違う景色の中を歩いていけば見えてくるのびのびと空を舞うちよう、曇った空に鮮やかに光る虹、小鳥のきれいな歌声、波のように心地よい風の音。すべてが私を変えてくれた。

以前の私のように帰り道つまらないと考えている人は多くいると思う。しかし、それは本当に正しいのだろうか。帰り道、自分で何かを見つけようとせずつまらなく見ているからつまらないと感じてしまうのだと思う。実際に私もそうだった。見つけようともしないのに、つまらないと勝手に決めてしまうのはとても悲しい

ことだと思う。だから、いろいろな物を見てほしい。聞いてほしい。上を向いてほしい。そうしたらあなたがまだ知らない世界が見えてくるはず。そして、その世界がきつとあなたを変えてくれる。